

高密封チャック + アクティブ吸湿

特許出願中

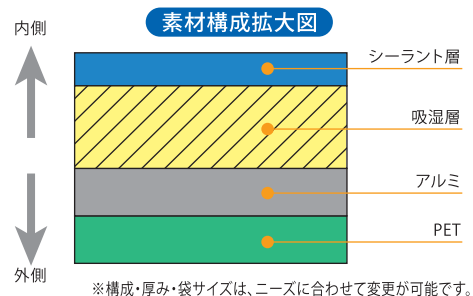
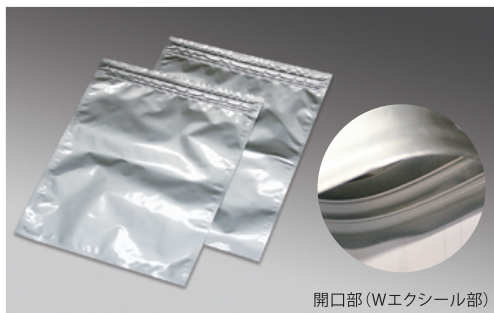
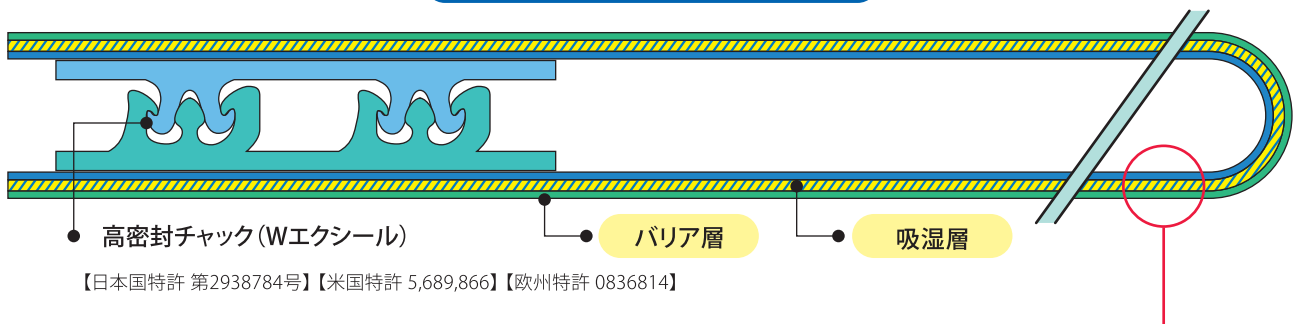
モレキュラーシーブ WEX袋

WEX エクシール

●低湿度でも高度な吸湿が可能。Wエクシールとの合体でさらに高密封化を実現しました。

- Wエクシールにより、ヒートシールと同等の密封が可能です。
- 電子材料のアクティブな吸湿ができます。
- アウトガスを除去する特別仕様も製作可能です。
- 脱気包装ができます。
- 乾燥剤が不要なため、包装工程の簡略化を実現しました。
- 廃棄の際も乾燥剤がないので環境にも優しい設計です。

モレキュラーシーブWEX袋 断面図



●精密機器からメディカル分野まで。湿気を嫌う製品の密封に最適です。

■ 電子部品の包装に

半導体を始め、コンピュータ及び周辺機器の部品・カメラやOA機器の部品など、湿気を嫌う精密電子部品の包装に最適です。シリカゲルなどの吸湿剤が不要なので、包装の際の手間も省けて生産性が向上します。

■ 医薬品の包装に

湿気との反応に非常に敏感な医薬品。モレキュラーシーブWEX袋はこの湿気による物質変化を防ぎ、医薬品に求められる精密な効能、高い安定性・安全性を守ります。

● 吸湿材料の特徴比較

■ 化学吸着と物理吸着の特徴比較

	化学吸着	物理吸着
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ● 化学量論以上に吸湿可能 ● 高温になっても放湿しない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 剤自身の膨潤がない ● 再生使用可能
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ● 膨潤、液相分離、流動化を生じることがある ● 再生使用不可 	<ul style="list-style-type: none"> ● 比較的低温でも放湿する (シリカゲル)

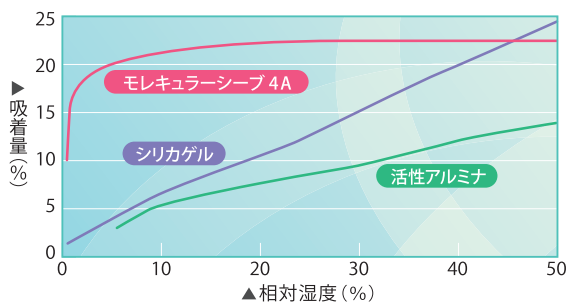
■ シリカゲルとモレキュラーシーブの特徴比較

	シリカゲル	モレキュラーシーブ
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ● 高温 (RH\geq45%) で有利 ● 低温で再生使用可能 	<ul style="list-style-type: none"> ● 低温でも吸湿の能力を保持し、絶乾に近い状態にすることが可能 (図1) ● 再生使用可能 ● 高温でも水分を保持する (図2)
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ● 低湿の場合効率が低く、絶乾に近い状態にすることができない ● 比較的低温でも放湿する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生温度が高い

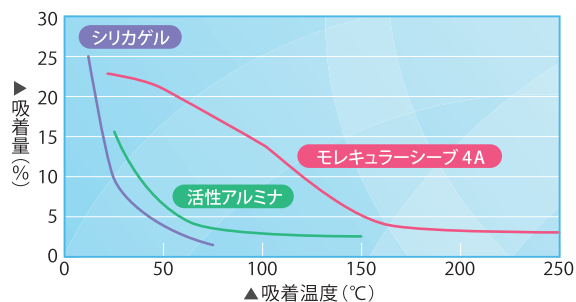
■ モレキュラーシーブ含有吸湿包材とシリカゲル袋詰めとの特徴比較

	シリカゲル	モレキュラーシーブ含有吸湿包材
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ● 入れる量によって吸湿量を増加させることが可能 ● 高温で使用することが可能 	<ul style="list-style-type: none"> ● シリカゲルの入れ忘れ、処分、印字転写などがない ● 袋の空気を抜いた場合でも、袋内面全体から吸着するので均一に吸湿可能 ● 低湿度でも吸湿効果をも有し、絶乾に近い状態にすることが可能
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ● シリカゲルの入れ忘れ、印字転写などの可能性あり ● 袋の空気を抜いた場合、シリカゲルの周辺部分しか吸湿効果がない ● 低湿の場合効果が低く、絶乾に近い状態にすることができない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 設計された量しか吸湿することができない ● シリカゲルに対し高価

■ 図1 【25℃での吸水曲線比較】



■ 図2 【1.3kPaにおける水の吸着等圧線】



*最終的な用途への適合性につきましては、お客様にてご判断くださるようお願い致します。

■ お問い合わせ先



● 本社 〒105-0012 東京都港区芝大門一丁目13番9号 TEL 03-6860-8189
 ● 大阪営業所 〒550-0011 大阪市西区阿波座一丁目4番4号 野村不動産四ツ橋ビル3階 TEL 06-6578-5209